



モンゴルと満洲から見た 近現代のアジア

明治維新以後の日本の近現代史は、日本人全員が学ぶべき大切な歴史であるにもかかわらず、政治的言動が優先されて真実が見えません。欧米を中心とする世界史あるいは現代中国や韓国が主張する戦後の国民国家史を相対化するためには、日本と中国の関係を、背後のモンゴルや満洲から見たアジア史が役に立つのではないのでしょうか。



講 師 : 宮脇淳子 (東洋文庫研究員)
 回 数 : 全 6 回
 日 程 : 9 月 30 日 ~ 12 月 9 日 (隔週土曜日)
 時 間 : 15 : 30 ~ 17 : 00
 対 象 : 一般
 金 額 : 17,400 円
 講座コード : 70910

カリキュラム : 第 1 回 清朝は、満洲人とモンゴル人が連合してシナを統治した王朝
 第 2 回 洋務運動と日本の明治維新 : 清はなぜ日清戦争に負けたのか
 第 3 回 日露戦争に勝った日本が満洲に投資し朝鮮を併合する
 第 4 回 辛亥革命とロシア革命の影響を受けたモンゴルの民族運動
 第 5 回 満洲国建国からシナ事変にいたる日本と中国の関係
 第 6 回 第二次世界大戦後のモンゴルと満洲

問い合わせ先 東洋文庫アカデミア

T E L : 03-3942-0121 (平日 9:00 ~ 17:00)

F A X : 03-3942-0258

E-mail : academia@toyo-bunko.or.jp

お申し込み方法はこちらをご覧ください

<http://www.toyo-bunko.or.jp/academia>

